

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 紀宝町	対談項目1 防災対策(地震・津波・洪水・孤立対策)	①地域減災力強化推進事業の充実について	<p>洪水対策としての避難路整備や土砂災害対策の避難場所の整備など、津波浸水予測地域外の山間部の地域につきましても補助対象となりますよう、補助対象地域の見直しをお願いします。</p> <p>また 補助金限度額の引き上げにつきましても、ご検討くださいますようお願いいたします。</p>	<p>津波浸水予測地域外の山間部地域への拡大につきましても、国の動向や市町のご意見を伺いながら、地域の実情に応じた制度のあり方を検討していく中で判断していきたいと考えています。</p> <p>また、平成25年度は、昨年度を上回る当初予算額の確保と補助メニューの拡充をさせていただいたところですが、各市町から予算規模を大幅に上回る要望をいただいております。限られた予算の中では、限度額の引き上げは難しいと考えております。</p>
2 紀宝町	対談項目1 防災対策(地震・津波・洪水・孤立対策)	②孤立地区の解消	<p>熊野川中流の浅里地区から対岸の新宮市への橋梁の新設を要望します。</p> <p>県道紀宝川瀬線につきましても、測量・調査を行っていただいておりますが、浸水対策として高岡地内や大里地内の嵩上げ等の改修を早急に実施していただきますようお願いいたします。</p>	<p>浅里地区から対岸への橋梁の新設については、地形的な制約、技術的な課題により、事業費が膨大になり、今の段階では難しいと思っています。</p> <p>また、県道紀宝川瀬線の嵩上げについては、全体計画延長約1.8kmとし、特に道路高が5m程度と低くなっている普通河川和田地川付近から、1級河川野添川付近までの約500mを最優先整備区間とし、道路の拡幅改良とあわせ、最大約2mの嵩上げの整備を進めていくこととなり、現在、測量及び設計を行っているところです。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 紀宝町	対談項目1 防災対策(地震・津波・洪水・孤立対策)	③情報収集設備の充実について	雨量計の設置につきまして、熊野川水系には1か所も設置されておりませんので、設置していただきますようお願いいたします。	<p>水位観測所は平成25年度末までに浅里地区へ新設する予定です。</p> <p>雨量計は、新宮川水系において計7箇所設置しており、国や隣接県の情報も出てきている中で、どういうふうに情報提供していけば良いのかということもありますので、新たな設置については、十分に状況把握をし、引き続き検討していきたいと考えています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 紀宝町	対談項目1 防災対策(地震・津波・洪水・孤立対策)	④ダムの運用見直しと情報提供の充実	<p>ダムの運用につきまして、下流域の影響を考慮した操作・運用ができる治水機能を持ち合わせた多目的ダムへの機能転換を図られますよう、関係機関に働きかけをしていただきますようお願いいたします。</p> <p>また、放流時の情報提供につきまして、5,000トン、1万トンの放流時など、生命・財産に危険が生じるような放流を行う場合など、非常事態を「生の声」でアナウンスしていただき、住民に分かりやすく届けていただくシステムの構築を、ぜひ実施していただきたく要望します。</p> <p>また、豪雨時等にはサイレン吹鳴や放送が聞こえず、放流状況が把握できにくいため、各地区に電光掲示板を設置して放水量を表示するなど、高齢者等にも一目で分かる情報提供方法のご検討をお願いします。</p>	<p>電源開発の社長に頼みに行つて以降、「暫定運用」が行われましたが、検証した結果、事業者としては、直ちに改善すべき課題は今のところないということだったので、平成25年度も「暫定運用」を継続し、その運用のあり方について引き続き検証していくこととされています。</p> <p>三重県としましては、「ダム操作に関する技術検討会」や「熊野川の総合的な治水対策協議会」において、検証状況を確認していきたいと思っています。</p> <p>5千トン、1万トンなどに達した場合にもサイレンが吹鳴されるよう、本年度に必要な設備が検討されると聞いています。</p> <p>さらに、サイレン吹鳴時のアナウンスについても、現在、音量試験を実施中であり、今後、どのような設備が必要か検討されると聞いています。電光掲示板の設置については、以上の取組と併せて検討するよう、電源開発に対して求めています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 紀宝町	対談項目1 防災対策(地震・津波・洪水・孤立対策)	⑤河川の洪水対策	<p>今回、国直轄で激特事業により計画されております国直轄管理区間の河道掘削事業を、国直轄管理区間より上流につきましても実施していただき、熊野川沿いの地域の治水リスクの低減が1日も早く図られるようお願いします。</p> <p>井田川につきましては、平成18年度から、三重県において改修工事に着手していただいているものの、完成には至っておらず、今の工事の進捗状況から考えますと、完成にはまだまだ時間がかかると思われますので、さらなる予算の増額に努めていただき、一日も早く完成していただきますようお願いいたします。</p> <p>また、他の県管理河川につきましても、堆積土砂撤去などの河道整備を早急に実施していただきますようお願いいたします。</p> <p>あしとかが繁っていて、流通を阻害するということがあり、草を刈ってもらっただけでも、疎通能力は違うと思うので、そういった部分だけでもお願いしたい。</p> <p>砂利の堆積については、知事の3県知事会議等で議論してもらい、国に要望されることになっていると思うが、新宮川対策協議会で、新宮市の議員が国の方に上がってないのではないかという話をされていた。それが本当であれば是非とも国にお願いをしていただきたい。</p>	<p>熊野川の国直轄管理区間より上流の河道掘削について、近畿地方整備局に対し、是非やって欲しいと言っています。今後とも、機会ある毎に要望してまいります。</p> <p>井田川のJR橋上流部については、引き続き整備が必要な区間として調査を行うとともに整備の方向性について、地元住民の方々と調整を行うこととしています。</p> <p>当面は、現地の水位の変化をわかりやすくするための量水標の設置を行うこととしています。</p> <p>他の県管理河川について、紀宝町内の河川は、紀伊半島大水害で約10m³の堆積土砂があったと考えています。平成24年度までに、約7万m³を撤去しました。平成25年度は相野川(おうのがわ)他4河川において約2万m³の堆積土砂を撤去する予定です。残る約1万m³についても、緊急度の高い箇所より計画的に進めてまいります。</p> <p>3県知事会議の件は、奈良県に確認しておきます。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
			<p>水道は災害救助法の対象にはなるが、激甚災害の対象外であり、同じ公共施設であるので、対象となるようご支援いただきたいと思う。</p>	<p>水道の件は、今年の5月にも要望していますので、引き続き強く要望していきます。厚生労働省は料金で賄っているもので、それでやれと言うわけですが、いざ発災したときに、水がどれくらい重要かということを考えれば、料金で賄うという話でないのは、火を見るより明らかなので、国に対する働きかけを強めてやっていきたいと思えます。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
6 紀宝町	対談項目2 新宮紀宝道路の早期完成～広域交通網の整備促進	<p>熊野川河口大橋を含む「新宮紀宝道路」の早期完成と、未事業化区間である近畿自動車道紀勢線（新宮～熊野大泊間）を早期に新規事業化するとともに、一日も早く、紀勢線が全線開通するよう、ミッシングリンクの解消など、広域交通網の整備促進を要望します。</p> <p>また、県の組織において、県土整備部新名神推進課のような、「紀勢線推進課（仮称）」を設置していただくなど、県の推進体制整備について、ご配慮をいただきますよう要望します。</p>	<p>来年度が勝負だと思う。ここで、仮に期間が空いてしまうと、優先順位が変わられてしまう可能性もありますし、景気の方が良くなってきて、B/C的な考え方に偏重していくような形になると困りますから、ミッシングリンクを解消していくということを、あらゆる場面で強く働きかけていきたいと思っています。</p> <p>体制の整備について、今は道路企画課に高速道推進班として4名おりますので、彼らに一所懸命頑張らせませうけれども、フェーズを見ながら検討してみたいと思っています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
7 紀宝町	対談項目3 井田海岸侵食・高潮対策事業について		<p>井田海岸について、地域住民が安心・安全な生活を送る海岸が整備されるにはまだ時間と多額の事業費が必要であることから、国の直轄事業により早期解決できるように要望いたします。</p> <p>また、国の熊野川激特事業による河道掘削土砂については、川から海への自然サイクルに基づき、井田海岸への受け入れ体制を図っていただきますよう要望します。</p>	<p>これまで、人工リーフや養浜の対策を実施させていただいていますが、今後も莫大な費用と時間を要します。このため、七里御浜海岸侵食対策の直轄事業化を国に対する提言活動などにより要望を行ってきたところであり、今後も引き続き強く要望していきます。</p> <p>また、熊野川激特事業による河道掘削土砂については、国と関係機関との調整を図っているところであり、平成25年度から井田海岸への掘削土砂の受入を目指しています。</p> <p>実現いたしますと、土砂の搬入にあたっては、地元関係者との調整も必要になりますので、ご協力をいただければと思います。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
8 紀宝町	対談項目4 鳥獣害対策について～射撃場施設の整備	有害鳥獣の捕獲力向上	捕獲力の強化は、県も国も、取組を強化していただきたい。	<p>本年度は、国の事業と県の事業がありまして、国の対策では、活動経費等について、1頭の捕獲に対し8千円を限度に補助しています。また、県の事業では、国の補助対象とならない捕獲活動経費等に対して、補助率1/2以内で支援することとしており、これら2つの事業を有効に活用していただき、野生鳥獣のさらなる捕獲促進につなげていただきますようお願いいたします。</p> <p>また、平成25年度の県の新規事業として、市町の実施隊員又は捕獲隊員の狩猟免許及び銃の所持許可更新のための経費（銃の所持許可更新に必要な技能講習等に係る経費を含む）を支援する制度を創設しました。こういう制度を活用していただきながら、また、地域の実情もお聞かせいただきながら、一緒に検討していきたいと考えています。</p> <p>長野県が獣害対策でうまくいっているので、連携していくことを考えつつあるところです。また、企業と一緒に大量捕獲技術の開発もしています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
9 紀宝町	対談項目4 鳥獣害対策について～射撃場施設の整備	射撃場施設の整備	<p>3年に一度ある猟銃の免許を更新するためには、技能講習が必要であり、散弾銃は伊賀市へ、ライフル銃は愛知県へと、遠方まで技能講習にいかねばなりません。この地理的負担の軽減と、有害鳥獣の捕獲力向上を図るためにも、併せて「スポーツコミッション」の位置づけとして、三重県国体と関連させ、スポーツを通じた地域振興を図るためにも、ぜひ、射撃場施設整備を要望します。</p>	<p>スポーツとしての射撃については、今、久居に県営のライフル射撃場があるが、スモールボアという小口径を対象としたもので、猟銃として使用されるライフル（大口徑＝ラージボア）につきましても、競技人口も少なく、国体種目にも採用されていないことから、ラージボアライフルに対応した射撃場の新規整備をスポーツ振興の観点から行うことは困難と考えています。</p> <p>一方で、スポーツコミッションの制度はありますから、そういう制度を活用していただくのも一つだと思いますが、施設的な部分については難しい。</p>
10 紀宝町	(当日追加項目)	熊野古道世界遺産登録10周年について	<p>熊野古道世界遺産登録10周年に向けて、高速道路の開通と合わせ、地域の魅力をアピールしながら経済の活性化につなげていきたい。道の駅については災害前の数にお客さんも戻りつつある。日本国内、世界に発信し、地域にお客さんに来てもらえるようにしていただければと思う。</p>	<p>平成26年7月から12月まで熊野地域一体となって事業を実施させていただきたいと思いますので、また、個別にいろいろとご相談させていただければと思います。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
11 紀宝町	(当日追加項目)	障がい児教育について	熊野市にくろしお学園があるが、住民票を移してまで、和歌山県のみくまの養護学校へ行きたいという人もいる。これは距離的な問題だけではない。状況を把握し、三重県側の学校に行きたいというようにしていただければと思う。	くろしお学園の施設整備を新たに行う中で、ソフト面での課題があると、魂こもらずとなるので、状況を確認し、改善に努めていきます。